

企 業概要

■社名 河村産業株式会社（三重県）

- 従業員数：260人
- 資本金：80百万円
- 事業内容：絶縁加工・電子材料加工製品の製造・販売

<http://www.kawamura-s.co.jp/>

- 売上高：6,866百万円
- 知的財産：特許16件、商標4件

当社技術を生かしたスリット加工製品



相 談のきっかけ

JV形態の海外進出の検討が具体化するなかで、事業面における情報収集等は既に十分行っているが、海外進出に当たり現地固有の知財面での情報収集や検討・準備（リスク検討、知財権やノウハウ管理等）などの手当が進んでいない。そこで、専門家の助言を受けつつ計画的に、且つ、早急に対処したいと考えた。協業体制におけるパートナーとの関係性構築も意識した知財体制を整え、これを各種契約に反映させ、高い収益性が望めるビジネスモデルを生み出し、計画的かつ有機的に実践するためのアクションプランを策定したい。

課 題と支援の内容

課題

海外進出のビジネスモデル検討・整理

海外進出に向けた知財体制の検討・構築

契約

アクションプランの策定

支援のポイントと活用した専門家

- ・投資・回収面での事業の優先順位付け、及び、各事業毎の活動（事業視点／知財視点）の整理
- ・知財活動の課題を整理し、合目的な知財戦略（権利化／秘匿化含む）を策定
- ・ライセンスビジネスにおける課題整理、及び、競争力の維持強化に必要な知財的手当て要否検討・整理
- ・JV形態の海外進出に関する課題整理、当社の方針の整理
- ・標準化プロセスにおける競争力の維持強化に必要な知財的手当て要否検討・整理
- ・ゴール到達に向けた課題解決のための活動計画策定（事業面を軸としたアクションプラン）

知財戦略専門家（企業OB）

知財戦略専門家弁理士

知財戦略専門家弁理士

知財戦略専門家

支 援を通じてできたこと

項目

海外進出における当社ビジネスモデルの検討・整理

JV契約の要点整理とこれに対応する知財体制の構築、当社知財ポリシーの策定

支援成果

- ・早い段階から事業×知財の視点からの支援を受けられたことで、技術、知財の価値を再認識でき、技術を生かしたビジネスモデルを整理できた。また、同時にリスクファクターの洗い出し・整理もできたため今後留意すべき点を明確にすることができた。
- ・知財に基づく自社優位性を維持すべく、知財体制の整備構築に向けたステップを整理でき、知財ポリシー策定に向けた道筋を作ることができた。
- ・契約条項を設計する際にどのように知的財産（権）を絡めるかでその後の事業活動にどう影響するか理解が進んだ。

社 長の支援成果についてのコメント

計画的な支援を通じて、自社技術を改めて見直すきっかけができ、独自技術の知財化、開発品の市場投入においてブランディング視点の必要性、そのためのツール整備など事業視点と知財視点から活動計画を策定し実施することの重要性に気づけた。

リーダー： 加藤泰助（企業OB 知財戦略専門家）

支援担当者： 近藤直広（三重県知財総合支援窓口）